

2019年3月7日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

## **株式会社アシックスのサステナビリティボンドの引受けについて**

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎、以下当社）は、このたび、株式会社アシックスが発行するサステナビリティボンド<sup>(1)</sup>（5年債200億円）の引受けにおいて事務主幹事を務め、本日、同サステナビリティボンドの条件が決定されましたことをお知らせします。

株式会社アシックスは「健全な身体に健全な精神があれかし」を創業哲学としており、スポーツを通じて青少年を育成したいという創業者の思いから生まれたため、CSR及びサステナビリティを常に経営の根幹として捉えてきました。サステナビリティボンドの発行は同社の企業理念と合致するものであり、調達された資金は全額をスポーツ工学研究所の研究費用等サステナビリティに資する適格プロジェクトに関連する費用として運転資金に充当される予定です。

本件サステナビリティボンドは適格性と透明性の確保および投資家への訴求力向上のため、第三者評価として、株式会社格付投資情報センター（R&I）より「R&Iグリーンボンドアセスメント」において、当該フレームワークがグリーンボンド原則2018、ソーシャルボンド原則2018およびサステナビリティボンド・ガイドライン2018に適合する旨のセカンドオピニオンを取得しております。

当社は、金融機関として果たすべき社会的使命を自覚し、持続可能な社会の実現に貢献するための取組みを積極的に推進しており、環境分野においてもグリーンボンドの引受けをはじめ、炭素クレジットやクリーンエネルギービジネスにおけるコンサルティングサービスの提供、社内の省エネ・省資源施策等を実施しています。

2006年に国連責任投資原則（PRI: Principles for Responsible Investment）が制定されて以来、世界のESG<sup>(2)</sup>投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESGをテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本件サステナビリティボンドの概要)

債	券	名	：	株式会社アシックス第2回無担保社債(特定社債間限定同順位特約付) (別称：アシックス サステナビリティボンド)	
取	得	格	付	：	A (R&I)
年			限	：	5年 (2024年3月13日償還)
発	行	額	：	200 億円	
利			率	：	0.200% /年
払	込	期	日	：	2019年3月13日
主	幹	事	：	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、SMBC日興証券株式会社、野村証券株式会社、みずほ証券株式会社、BNPパリバ証券株式会社、大和証券株式会社	

- (1) サステナビリティボンドとは、国際資本市場協会 (International Capital Market Association : ICMA) が定義する「グリーンボンド原則 (Green Bond Principles) 2018」、「ソーシャルボンド原則 (Social Bond Principles) 2018」および「サステナビリティボンド・ガイドライン (Sustainability Bond Guidelines) 2018」に則した債券
- (2) 環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の英語の頭文字を合わせた言葉

以上